



と しょ かん たからもの 図書館がくれた宝物

アルバス作 くし だ り え 徳間書店
櫛田理絵訳 とく ま し ょ て ん

一九四〇年、第二次世界大戦中のロンドン。ウィリアム、エドモンド、アンナの三人きょうだいは、親がわりの祖母を亡くした。保護者になってくれる人を見つけたら、三人はロンドンから田舎へ疎開することに。けれど、はじめの疎開先では双子の兄弟からいやらせを受け、つぎの家でははじめな思いをするばかり。そんな三人の心のよりどころとなったのは、村の図書館と司書のミユラーさんだった。三人を家族として迎え入れてくれる人は見つかるのだろうか。

